



8/13  
26

森に親しむ体験講座「曲げわっぱ」「万華鏡」づくりを開催



◀曲げわっぱづくりの様子(左) 万華鏡づくりの様子(右)

子どもたちが森林に親しむことを目的として、小学生40人が参加しました。  
作品の材料には、不破郡産の今須杉や、町内で取れた木材を使用。  
子どもたちは、のこぎりなどを使った慣れない作業に苦戦しながらも保護者と協力し、見事作品を作り上げました。  
完成すると、曲げわっぱや万華鏡を嬉しそうに眺める様子が見られました。

8/27

4年ぶり 町防災訓練を実施



◀防災資機材の説明を受ける様子(左)、避難所設置訓練の様子(右)

新型コロナウイルスの影響により、4年ぶりに町防災訓練を表佐地区で実施しました。  
住民はじめ、警察や消防といった公的機関、協定締結団体など約1,100人が表佐小学校や各自治会地域に参集し、避難所設置訓練や防災探検まち歩き訓練といった住民参加型訓練、災害ボランティアセンター設置訓練や給水訓練など関係団体の協力による訓練などを体験しました。  
「自らの命は自らが守る」を基本に、住民と行政が一体となり、防災に取り組みましょう。

8/29

## 町主催事業等の映像配信に向けた連携協力に関する協定を締結



五十川代表取締役社長(右)

ICTなどの先端技術を活用して町が主催する事業などの映像を配信し、情報発信の充実を図るため株式会社大垣ケーブルテレビとの協定を締結しました。配信に向けた環境の整備や情報提供など、積極的に行い、より効果的な情報発信を連携して行っていきます。

8/26

## 夏夜を彩る竹あかりの世界



朝倉山真禅院を竹とろうそくで彩る「たるい竹あかり」が開催されました。境内に灯された約3,000本の竹あかりと、シンボルである三重塔とのコラボレーションは幻想的で見る人を魅了しました。訪れた人たちは、足を止めて眺めたり、写真を撮るなどして竹あかりの夜を楽しみました。



SDGs

今月のたるい自慢



ふるさと納税の返礼品から、SDGsの視点で垂井町自慢の特産品を紹介します。

### 食べて健康！「竹炭食用粉末」



竹炭は腸内の老廃物を吸着し、腸内環境を整え、免疫力を高める効果があります。また、医療現場でも中毒・薬毒物の排出に「活性炭」が用いられるほどデトックス効果が高く、健康に良いことで知られています。

それらの効果に着目して作られたのが「竹炭食用粉末」。竹は厳選した地元の孟宗竹を使い、ごく微細な粒子に粉末加工しているのが特徴で、ヨーグルトなどに混ぜて食べるのがおすすめ。

製造・販売者の栗田さんは、「今年で80歳になりますが、7年間食べ続けているので、体の調子が良いです」と話します。自身と消費者の健康を願い、これからも竹炭を焼き続けます。



「和みの竹華炭」(アートデザイン工房)

▶製造・販売者/栗田正雄

▶所在地/栗原1411

☎090-4258-8775

問 企画調整課 企画係

☎22-1152

Quiz

## 広報クイズ

広報たるいを読んで、クイズに挑戦しよう！応募し、全問正解した人の中から抽選で3人に賞品を贈ります。なお、当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

### 問題

- ①林道明神線の愛称は「●●●●●●●●●●」に決定
- ②10月29日(日)に「垂井町●●●●●」を開催します。
- ③2023年9月1日現在の垂井町の人口は●●●,●●●●●人です。

正解は来月号のこのコーナーでお知らせします。

▶応募資格/どなたでも

▶応募方法/次のいずれかから応募

応募手段	応募方法
1 応募フォーム	紙面に添付のQRコードまたは町ホームページからアクセスし、必要事項を記入し送信
2 ハガキ	ハガキの裏面に「広報たるい10月号広報クイズの応募」、クイズの解答を記載し、以下へ郵送

▶応募期限/10月23日(月)必着

申・問 〒503-2193 垂井町宮代2957番地の11  
垂井町役場 企画調整課 地域振興係  
☎22-1152



▲応募はこちら

9月号の答え：①避難指示 ②住宅・土地統計  
③救急車 応募総数：99